



岩五だよい



江戸川区立小岩第五中学校
令和7年度 学校だより
～ 12月号 ～
令和7年12月9日発行

「令和7年 最後の月となりました」 校長 前本 大智

師走を迎え、校庭の木々もすっかり葉を落とし、冬の冷たい空気を感じるようになりました。今年も残すところわずかとなり、子どもたちが一年間の学びを振り返り、次のステップへと進む準備をする季節となりました。

今回は、11月末に2年生が取り組んだ「チャレンジ・ザ・ドリーム」についてまずお話をいたします。地域の皆様や事業所の温かいご協力をいただき、子どもたちはさまざまな職場で働く体験をさせていただきました。スーパーでの品出しや接客、保育園での子どもたちとの関わり、介護施設での利用者さんへの声かけ、飲食店での調理補助など、体験の場は多岐にわたり、それぞれの現場で「働くことの責任」と「人に喜んでもらうことの嬉しさ」を直接肌で感じることができました。ご迷惑やご心配をおかけすることもあったとは思いますが、ご協力していただいた皆様方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

本体験を通して、子どもたちは「勤労の大切さ」に気づきました。働くとは単に自分のためだけではなく、誰かの生活を支え、社会を作り立たせる営みであることを感じたと思います。ある生徒は「お客様に『ありがとう』と言われてとても嬉しかった」と話し、別の生徒は「時間を守ることや協力することが大切だと分かった」と振り返っていました。こうした気づきは、学校生活ではなかなか得られない貴重な体験となります。さらに、「分業の大切さ」にも目を向けることができました。社会の中では、一人ひとりが役割を担い、互いに協力し合うことで大きな成果を生み出しています。子どもたちは「一人の力ではなく、みんなの力が合わさって社会は動いている」ということを見ることができたと思います。これは、今後の学校生活にも生かせる大切な視点となると考えています。

また、この時期3年生とは、校長面接の機会を得ています。面接では、自分の進路や将来について真剣に語る姿が見られます。緊張しながらも、自分の思いを言葉にしようとする姿勢に、最上級生らしい努力と成長が感じられます。面接は、自分自身を見つめ直し、将来の目標を明確にする大切な機会になります。自分の強みや課題に気づき、次の挑戦へと進んでいける推進力になればよいなと心がけています。いよいよ3年生は受験（受検）を迎えます。ここからが本当の勝負です。努力を積み重ねてきた日々は、決して裏切りません。自分の未来を切り拓くための挑戦です。困難に直面したときこそ、自分を信じ、最後まで粘り強く取り組んでほしいと思います。仲間や先生方、家族の支えを力に変え、これまで培ってきた知識と経験を存分に発揮してください。「努力は必ず報われる」とは限らないかもしれません。しかし「努力しなければ報われることはない」のも事実です。受験（受検）を通して得られるものは、合否だけではなく、自分を信じて挑戦した事実、最後までやり抜くことです。これこそが自分の人生を支える大きな財産となります。3年生の皆さんには、ぜひこの試練を乗り越え、自分の未来を切り拓いていってほしいと強く願っています。

師走は一年の締めくくりであると同時に、新しい年への準備の時期もあります。3年生は、自分への挑戦を、2年生は、最上級生になる自覚を、そして1年生は次の学年への基礎と先輩になる心の準備を、それぞれ胸におきながら過ごしてほしいと思います。寒さが厳しくなる折、どうぞ健康にご留意いただき、よい年をお迎えください。保護者の皆様、地域の皆様、には、今年一年、子どもたちの成長を温かく見守り、支えていただきましたことに改めて感謝申し上げます。来年も引き続き、学校と保護者の皆様、地域の皆様が手を携えながら、小岩五中の子どもたちの未来を育んでいければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。